

令和5年 12月20日(水) 3校時 開校105周年記念 特別授業

ようこそ先輩！ 玉ノ井親方 (玉ノ井部屋)



開校105周年を記念して、
玉ノ井部屋の玉ノ井親方に、
本校の卒業生として来校し
お話をうかがいました！



元PTA会長 駒宮さん

玉ノ井親方

2人は同級生です



在学当時や卒業アルバムの写真を見ながら、たくさんの質問に快く答えていただきました。ありがとうございました。



玉ノ井親方から教わったこと

玉ノ井親方は、本校が開校 70 周年の時の
6 年生でした。6 年 2 組の在籍で、駒宮克治
(元 PTA 会長) さんと同級生で、現在でも
親交があります。



玉ノ井親方と高山校長先生



力士になろうと思ったのは、中学 2 年生の時だ
そうです。その時から、相撲にだんだん勝てるよ
うになってきて、相撲がおもしろくなってきたの
もあるそうです。お家の方と相談をして、中学校
の卒業後、入門し「栃東」となったのです。

小学校の時は、勉強だけでなく、野球や
水泳などのスポーツ、トランペットの楽器
演奏など、色々なことに挑戦し楽しんだそ
うです。ちなみに、当時の 50m 走の記録は
6 秒 5 でした！

毎日、楽しく過ごし、足も
速くてすごいなあ！



現役時代の玉ノ井親方と駒宮さん

現役当時の体重は 150 kg まで増やしたそうです。引退するま
でに勝利した合計数は 500 勝を超えました。筋力トレーニング
をたくさんしたり、肉料理を食べて稽古に励んだそうです。

「得意な技は？」という質問には、実演してくれました。

得意な技は「おっつけ」で、相手の肘を動かなくする技だそうです。勝つために、対戦する相手の取組を記録ビデオで何度も再生して見て、研究したそうです。勝つためには、「相手を知ること」が大切だと話していました。



「相撲あるある」①

Q. どうして、土俵で塩をまくのですか。

A. 色々な意味がある中で1つ紹介します。塩をまくのは、「邪気」といって災いがないようにする意味が込められています。1対1で正々堂々と勝負ができるように、怪我がないように…おすもうさんにとって土俵は大切な場所だからです。

Q. どうして、「のこったー、のこったー」ってかけ声をかけるのですか。

A. 行司といって、審判をする人が勝負を決めるために、この言葉を言うのですよ。

なるほど！勉強になるなあ。



「相撲あるある」②

Q. おすもうさんって、足に画びょうがささっても痛くないんですか？

A. 痛いですよ。

そのかわり、足の裏の皮ふは、とても強くなりますよ。はだして、毎日、練習をしていると皮ふの皮がとても厚くなってきますよ。



親方、本当にありがとうございました。

